

令和7年 第2回定例会市会【11月議会】12月8日 一般質問より

市民のくらしに身近な里山の整備について

住本 1. 落合中央公園について

質問 落合中央公園の再整備にあたっては、園内の里山や落合池の江戸時代からの歴史や、珪化木の化石が出土することなど、公園の特性を知ってもらう仕掛けも必要だと考える。その方策としては、歴史やコースのわかる看板を地域団体や地元の大学生と協働で作成・設置してはどうか。西区の手塚山ハイキングコースには、コース地図や歴史案内が地域団体、地元大学との協働で設置されている。それにより地域により親しまれる公園になると考えるが。

小松 副市長 例示された西区の手塚山ハイキングコースの取り組みは公園に親しみを持ってもらう上では有効であり、落合中央公園でも参考になると考えている。現在、落合中央公園でも複数の団体が様々な活動を行っており、学生も清掃活動などに参加している状況である。また、公園南東部には珪化木(古代樹木の化石)が設置されており、地域団体からもそのような魅力発信の紹介看板の設置要望がある。今後、地域の歴史も含めた案内看板の設置については学生の参画も得ながら地域団体と連携して取り組んでいきたい。



設置してある珪化木

住本 2. 妙法寺小学校自然教育学習園の活用について

質問 須磨区内には、篤志者によって土地が寄贈され、昭和24年から管理が始まった自然教育学習園(略して自教園)が妙法寺小学校の校舎裏手にある。現在は地域管理団体により、児童向けの活動が行われているのみで、教師の目が行き届かないという理由で子どもたちが普段立ち入りできないと聞く。先日、その里山を見学したが、大木が折れていたり、園内の池が荒れていたりと、現状では子どもたちが遊ぶ場所としてはふさわしくないと感じた。せっかくの自然環境を有効活用するため、この里山を整備して子どもたちが安心して遊べる里山にするべきと考えるが。



妙法寺小自教園

福本 教育長 妙法寺小学校には1万5000平米に及ぶ自然教育学習園(自教園)があり、児童の交流の場や自然体験活動等の場所として活用しているが、一部危険な場所があるので、原則、教員引率の下で学習活動を行なっている。また、地域団体にも活用いただけており、多くの地域の方々に参加いただいている。自教園は、可能な限り日常的な管理を行なっているが一部危険箇所があることは事実である。学校や教育委員会事務局で適正かつ計画的な整備・管理を行うことは限界があるので、今後市長部局とも連携しながら、持続可能な管理のあり方を検討したい。

住本 要望 落合中央公園の入り口に設置してある珪化木も以前から要望しているが、何の説明板もなく、ほとんどの人が何かわからないままである。早急な対応を願いたい。また、妙法寺小自教園はなぜ教育委員会の管理となっているのか経緯が不明だが、建設局に移管して里山公園として整備・管理した方がいいのではないだろうか。早急に持続可能な管理のあり方を検討いただきたい。

除草対策の最適化について

住本 質問 本市では、市民の安全と快適な都市景観の維持を目的に、道路植樹帯や公園で年2回の除草の実施や『雑草対策プロジェクトチーム』を発足させるなど、積極的な取り組みを行なっている。しかし、近年の温暖化等の影響による頻繁な雑草繁茂により、年2回の除草では市民の期待に応えきれないとも言え、年間除草コストはかなりのかかっていると思われる。今後は、これまで以上にメリハリのある対策転換が必要ではないか。除草シートの活用やコンクリートで固める、人の立ち入らない場所への除草剤の散布など、場所に応じた多様な組み合わせる手法が考えられる訳だが、費用抑制を図りつつ、除草対策をどのように確実に進めていくのか見解を伺う。



久元 市長 私も現状を改善して最新テクノロジーを応用しての除草対策は重要だと考え、令和4年に『雑草対策プロジェクトチーム』を立ち上げ、防草・除草対策の両面から新たな雑草対策技術の検証や実証実験に取り組んでいる。これらの検討結果を基に、従来の一律の除草に加え、場所に応じた最適な手法を組み合わせる攻めの雑草対策への転換を進めている。具体的には、中央分離帯などの防草シートの活用、景観を向上させるための雑草抑制植物の植栽、高温の泡を用いた除草工法の試験導入といった多様な手法での費用抑制と景観維持の両立を図ることを目標にしている。今後も効果検証を重ね、新技術や除草剤などの新しい材料も検討を深め、より効率的な雑草対策を推進していきたい。

住本 要望 市所有地でも、道路・公園は建設局、市営住宅敷地は建築住宅局、海岸は港湾局など、雑草管理は複数部局に分かれており、市民から見ても責任所在が不明確である。また河川は県の管理など、**部局横断や県市協調して管理水準を統一する仕組み作り**が必要であると考え、今後そのような課題を解決してより効率的な市民生活の環境改善に努めていただきたい。

神戸市幸福度ランキングについて

住本 20政令市 神戸市幸福度14位!

質問 (一財)日本総合研究所編集・調査が行なっている「都道府県幸福度ランキング」において、昨年の調査結果では14位まで順位が上がっている(平成29年8年前にも質問した時は政令市20の内16位であった)。一方で14位という低位に沈んでいるという事は依然改善の余地があるのではないかと。幸福度や他都市の比較は主観的であるということは承知しているが、「市民が幸福を感じ取れる政策という観点」を重視して今後の市長任期の間でこのデータも参考にしつつ積極的に施策展開をしていくべきと考えるが。



©神戸市

久元 市長 令和4年度からは、国からも自治体ごとの幸福度を示すWell-Being(※注1)指標が公表されているが、都市の特性などが異なる自治体では、市民それぞれが何を幸福と感じるかの価値観が異なるため、自治体間の優劣比較は慎重にも指摘されている。今後の10年間の本市方向性を示す次期基本計画の目標数値-KGI(※注2)の1つにWell-Being指標の幸福度、生活満足度を現状値以上にするを掲げ、他都市の比較ではなく、市民の幸福度を今以上に高めていく方向性を示している。様々な調査機関のランキングに一喜一憂するのではなく、本市が高い水準になることを目指すことも1つの考え方と考えており、ご指摘も踏まえながら本市の施策展開を行なっていきたい。

(※注1) Well-Being(ウェルビーイング):個人の心身や社会の良い状態を表しています。つまり心身とも満たされた社会の良い状態のことを表します。
(※注2) KGI:長期的な目標数値のこと

詳細は神戸市会インターネット中継でご確認ください。



市民の皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております

公式 http://www.k-sumi.jp

Mail suma@k-sumi.jp

住本かずのり



市政相談
受付中!

住本かずのりオフィシャル
Facebook

発行

日本維新の会 神戸市議員団

神戸市須磨区事務所

住本かずのりオフィシャル
Instagram

〒650-8570

神戸市中央区加納町6丁目5番1号1号館29階

TEL:078-322-0185 FAX:078-322-0184

〒654-0051

神戸市須磨区月見山本町2丁目6番15号

TEL:078-735-8231 FAX:078-735-8231